

## 平成 29 年第 3 回美唄市教育委員会会議録

1 と き 平成 29 年 2 月 16 日（木）  
午後 4 時 00 分～午後 5 時 20 分

2 ところ 教育委員会室

3 出席委員

星野教育長 高橋委員 森田委員 齋藤委員 土肥委員

4 説明員

伊藤教育部長 阿部学務課長 西田学務課補佐 日下学校給食センター所長  
畑島指導室長 谷村生涯学習課長 谷川生涯学習課長補佐  
川西スポーツ振興課長 高田図書館長 高橋総務係長

5 開会

齋藤委員を署名委員に指名

会期を 1 日と決定

6 議件名

議案第 2 号	美唄市放課後児童施設条例の一部改正の件
議案第 3 号	美唄市放課後児童施設条例施行規則の一部改正の件
議案第 4 号	美唄市立学校管理規則の一部改正の件
議案第 5 号	平成 29 年度美唄市教育行政執行方針
議案第 6 号	平成 29 年度教育委員会予算（案）
その他 1	美唄市立学校職員服務規程の一部改正について

## 概要記録

16:00

●星野教育長 ただいまから、平成29年第3回美唄市教育委員会会議を開会いたします。順序第1 会議録署名委員には、齋藤委員を指名いたします。

次、順序第2 会期の決定につきましては、本日1日とします。

次に、順序第3 教育長報告、行事報告・行事予定について、事務局から説明をお願いします。

●伊藤教育部長 資料に基づきまして、平成29年第2回美唄市教育委員会議以降の報告説明をいたします。

※教育長報告（添付資料 別紙1）

※行事報告、行事予定説明（添付資料 別紙2）

●星野教育長 ただいま、教育長報告、行事報告・行事予定について、事務局から説明がありましたが、何かご質問はありませんか。

●各委員 ありません。

●星野教育長 なければ、次に移ります。順序第4 議案第2号 美唄市放課後児童施設条例の一部改正の件を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

●谷村生涯学習課長 議案第2号 美唄市放課後児童施設条例の一部改正の件について説明いたします。本件につきましては、中央小学校区放課後児童施設において、ここ数年前より、入所申込者が定員を超え、夏休み頃から退所者が出まして、年度末におきましては、定員内に収まる状況ではありましたが、今年度におきましては、現時点におきましても、定員を超える児童が入所している状況でございます。また、この現状につきましては、今後3年から4年続くと推測されますことから、中央小学校区放課後児童施設の定員を70名から80名に変更するために改正を行うものでございます。以上、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

●星野教育長 ただいま、生涯学習課長から条例の一部改正の件について説明がありました。この件につきまして何かご質問ございませんか。

●齋藤委員 定員を増やすにあたり、職員数については規定の範囲以内ということで理解してよろしいですか。

●谷村生涯学習課長 はい。今回の定員を増員につきましては、70名から80名の10名の増員ということですが、こちらの10名増に対します職員の配置の方ですが、現行の職員のままの数で間に合うという形で対応しております。

●星野教育長 現行の職員数で間に合っているということですね。

●谷村生涯学習課長 はい。

●星野教育長 他に質問等ありませんか。

●高橋委員 これ以上増えることはないのですか。

●谷村生涯学習課長 今後 3、4 年は増える傾向にあるのですが、それを過ぎますと、少子高齢化といえますか、減少する見込みにあります。

●森田委員 利用者数の推計資料で、中央小学校区が平成 29 年には 85 名とありますが、この方たちが全員希望を出した場合には、入れないということですか。

●谷村生涯学習課長 今回の定員改正の 80 名ということですが、利用者数の推移見込みの資料を見ていただきますと、29 年 85 名、30 年 80 名、31 年 71 名という推移になっています。現在も定員 70 名のところに 74 名の登録がされていますが、現在の職員数の中で対応できる考えで行っています。推計数で見ると本来は定員 90 名という形が望ましいかもしれませんが、平成 31 年以降の推計を考慮し、10 名プラスの 80 名という形で改正を行います。

●森田委員 今現在、70 名定員に対して支援する職員の方たち 7 名ですが、29 年度に 85 名の子どもたちが全員利用するとした場合でも 7 名体制ということですよ。

●谷村生涯学習課長 基本はそうですが、29 年度におきましては、子どもの数が増えるほかに、障がいを持っているお子さんも増える見込みもありまして、そちらにつきましては、障がい児 3 名に対して 1 名の支援員を付けるという基準で行っていますので、そちらの方に職員が足りなくなりますので、1 名増員を予定しています。

●星野教育長 他、よろしいですか。ないようですので、議案第 2 号 美唄市放課後児童施設条例一部改正の件については、原案のとおり可決することによろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●星野教育長 それでは、原案通り可決いたします。

次に議案第 3 号 美唄市放課後施設条例施行規則の一部改正の件を議題とします。事務局から、説明をお願いします。

●谷村生涯学習課長 議案第 3 号 美唄市放課後児童施設条例施行規則の一部改正の件についてご説明いたします。本件につきましては、施行規則の中にあります入所申請書の様式の一部を改正するというものでございます。これにつきましては、これまで利用者のお迎えについては、成人している同居する家族を基本とし、状況

に応じ、その親族のお迎えに、その都度、対応しておりましたけれども、入所申請書の中におきまして、事前に同居する家族以外で、お迎えに来る可能性もある親族の方を指定してもらうことによって、スムーズな児童の退所の対応ができるように項目を追加しようとするものです。この部分につきましては、資料にあります様式第 1 号の真中より少し下に、同居の家族以外でお迎えに来る可能性がある親族の方を 4 名分申請できるように追加をさせていただくということになります。併せまして、その下にあります同意書の内容ですが、放課後児童施設の運営に必要な場合、保育所や幼稚園、小学校等関係各所との連携を図るため、情報を求めることに對して、同意書の方を提出していただいておりますが、この同意書の中に、放課後児童施設において児童一人一人をお預かりするうえで、関係各所からの情報を求めるだけではなくて、放課後児童施設での状況を提供することで、関係各所との連携に児童健全性が図られることから同意書の文面の中に「提供する」という言葉を追加しようとするものでございます。様式の方を見ていただきまして、①番の 3 行目になりますが、「教育委員会の関係担当課に対し、情報を求めること、提供することに同意します。」が追加することとなっております。これら 2 点につきまして、様式の一部改正をするものでございます。どうぞよろしくご審議のほどお願いいたします。

●**星野教育長** 議案第 3 号につきましては、様式の変更となっております。内容につきましては、同居の家族以外でお迎えに来る可能性のある親族の方という部分の追加と、同意書の関係でございます。この件につきまして、何かご質問ございませんか。

●**各委員** ありません。

●**星野教育長** なければ、議案第 3 号 美唄市放課後施設条例施行規則の一部改正の件につきましては、原案どおり可決することとしてよろしいでしょうか。

●**各委員** はい

●**星野教育長** それでは原案どおり可決いたします。

次に順序第 4 美唄市立学校管理規則の一部改正の件を議題といたします。説明をお願いします。

●**阿部学務課長** 議案第 4 号 美唄市立学校管理規則の一部改正の件についてご説明申し上げます。資料の新旧対照表をご覧ください。線を引いてございますが、職員の介護休暇及び介護時間の承認ということで、「介護時間」というのが、新たに休暇として取得することができるという旨の改正を行いたいと考えてございます。資料を別に作りましたのでご覧ください。育児・介護休業法が改正されますという資

料です。これにつきましては、平成 29 年 1 月 1 日施行となっていて、介護をしながら働く方や有期契約労働者の方が介護休業・育児休業を取得しやすくなるよう改正が行なわれましたとございます。有期契約労働者とはパートタイマーの方、アルバイトの方、契約社員の方を指しますが、制度としては、(1) 介護休業の分割取得が可能となったということで、現行では、介護休業につきましては、介護を必要とする家族 1 人について、原則 1 回に限り取得可能というのが現行制度でございます。改正につきましては、対象家族 1 人につき 3 回を上限として介護休業を分割して取得可能となります。(2) 介護休暇の取得単位の柔軟化というところでは、現行、介護休暇については 1 日単位で取得ということになっていますが、改正後は半日単位で取得が可能というようになっています。(3) 介護のための所定労働時間の短縮措置等ということで、介護休業につきましては、改正後、利用開始から 3 年間で何回というように決まっております。(4) 介護のための所定労働時間の制限では、改正後は、残業等についての免除について新設されています。全体としての介護休業の制度を受けて、学校職員にあてはめる改正につきましては、別の資料になりますが、「家族の介護に係る制度について」という資料をご覧ください。これにつきましては、北海道学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例、規則の改正となっております。美唄市立学校職員につきましては、学校管理規則を受けて、道教委の条例と規則について準用することになっておりますので、この改正がそのまま美唄市にも適用されるということになります。資料の中ほど介護休暇とあります。これについては、1 枚目をめくっていただきまして、今回の介護休暇につきましては、介護休暇を必要とする一の継続する状況ごとに 3 回を超えず、かつ、通算して 6 カ月を超えない範囲で指定する期間内に取得することが認められるということになります。取得単位については 1 日、1 時間又は 1 分単位というような取得になります。次のページ、介護時間は、今回、新たに制定されたものでございますが、介護時間については、職員が特定要介護者の介護するため勤務を要しない場合については、連続する 3 年間のうち、1 日 2 時間の範囲で介護の時間としての休暇を取ることができる制度が新設されております。次のページ、短期介護休暇という設定されています。これについては、職員が特定要介護者の世話をすることによって、1 年間の間に 5 日以内の休暇を取得することができるという制度になっております。次のページ、介護を行う職員の早出遅出勤務というのが、今回設定されておまして、介護をする方がいるときには、1 日の勤務時間の長さを変えないで、朝早く出てくる時間と終わる時間を繰り上げ又は繰り下げを行うことができるといった制度が新設されております。次に、介護を行う職員の深夜勤務、時間外勤務の制限ということで、

要介護者又は特定要介護者を介護するためには、深夜勤務についてはしないことができることと、時間外勤務についてもしないことが新設されているところでございます。最初の議案の方に戻りますけれども、美唄市の学校管理規則にも介護時間について規定を入れまして、北海道が定めております学校職員の勤務時間、休暇等の条例、規則について準用して、同じような制度運用をしたいと考えております。施行期日につきましては公布の日としておりますので、今日の承認をいただきまして、平成 29 年 2 月 16 日から施行したいと考えております。規則の改正については、以上でございます。

●星野教育長 議案第 4 号の改正につきましては、新たに介護時間について追加になっております。この件につきまして何かご質問等ございませんか。

●各委員 ありません。

●星野教育長 なければ、議案第 4 号 美唄市立学校管理規則の一部改正の件については、原案どおり可決することとしてよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●星野教育長 それでは、原案どおり可決いたします。

次に、議案第 5 号 平成 29 年度 美唄市教育行政執行方針の件を議題とします。説明をお願いします。

●伊藤教育部長 平成 29 年度教育行政執行方針の（案）につきまして、ご説明いたします。「1 はじめ」のところでございますが、教育委員会制度が変わったということで、本市においては、今年から新制度に移行したということです。これを受けまして、国が進めている教育再生の動き、また、一方では、本市においては、少子化の進行が進んでおりまして、教育行政を取り巻く環境は大きく変わり、転換期を迎えているという認識を述べております。このような困難な局面を乗り切るうえで、市長、教育委員さんとの協議、連携を深めるということ、対話を通じた相互理解が必要だということと最後には必要な決断を的確に行うという認識を述べております。教育委員会が担うべき役割、次代を担う子どもたちを育み、市民の皆さんに、文化、スポーツなどの活動を通じた希望を切り開いていくということと、併せて、時代については地方創生へと動きだしているということを踏まえまして、本市の発展や地方創生の礎となる教育をはじめとする生涯学習、生涯スポーツなどの重要な分野における大きな役割を踏まえて、市民の皆さんとともに未来に向かって前進することという決意を述べております。次に 2 ページです。具体的な施策になりますが、「2 学校教育」の中で（1）幼稚園教育のところですが、前段で教育の認識をまとめておりまして、多様な活動の経験と集団生活を通じ、豊かな感性や人とのかかわる力を養っ

ていくということと、生涯にわたる学習意欲や学習態度の基礎となる好奇心、探究心を培っていくという具体的な教育内容を述べております。また、特別支援教育、幼稚園教育による研究活動、これにつきましては、公立幼稚園が担うこととなっております。役目を果たしていくうえで、教職員、特別支援教育支援員の研鑽を図っていること、それから併せて、子ども・子育て支援新制度がスタートしておりますので、これに対応すべく、私立幼稚園2園の意向を踏まえ、新制度への移行ということで押さえておりますが、これが円滑に移ることができるよう取り進めてまいります。3ページの(2)小中学校教育でございますけれども、はじめのところでは、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に向けて、「知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成」「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養」という3つの柱とされていますが、これらを、教育課程全体を通じて育成していくという基本的認識と、これを踏まえて、本市としての進め方としては、幼小、小中、中高連携を進めていくことでまとめております。次の「確かな学力の育成」につきましては、義務教育9年間を見通した分析・検証を行ったうえで、きめ細やかな学習指導に取り組んでいくということ、外国語教育では、小学校においては外国語活動、中学校においては外国語教育の充実に向けまして、2名おります外国語指導助手をフル活用し充実を図っていくという方向性を目指しております。次に4ページでございます。特色のある教育の推進につきましては、グリーン・ルネサンス推進事業を継続してまいります。複式学級がある小学校につきましては、学習支援員の配置を継続してまいります。高校との連携ですが、高校から中学校への出前授業、中学校が高校へ行っての施設の活用などを通じた交流を進める又は継続していくということです。また、高校におけますキャリア教育などの教育活動に対する支援の拡充を29年度は図っていくということになっています。学校の適正配置につきましては、一定の方向性をまとめておりますので、これを、更に精査した中で取りまとめを行い、委員の皆さんと意見交換を進めていくということになっております。次に5ページ、「豊かな心の育成」でございます。道徳の時間については、小学校では平成30年度、中学校では31年度から「特別な教科 道徳」として実施されることとなっておりますので、「考え、議論する道徳」に向けての質的転換へ進めていくということ、次の「心と心をつなぐ指導」につきましては、これまで4年間、教職員等を対象にしたカウンセリング研修を行ってきておりますので、これに基づいた実践段階へと移りたいと考えております。いじめ防止に向けての取り組みにつきましては、美唄市で掲げております、いじめ防止基本方針等に基づいて対応していくということを基本的にしながら、「仲

間づくり子ども会議」については継続実施していくこととしています。6 ページ、登下校時などの安全対策として、これまで同様、交通安全指導、通学路の安全点検、学校安全マップの更新を実施、学校内での外部からの侵入者対策として、防犯訓練等を実施していきます。「健やかな体の育成」につきましては、食生活の乱れについては、肥満や痩身、体力の低下、学力の低下にも関係することから、栄養教諭による食に関する指導を通じて、望ましい食習慣の確立、あるいは栄養バランスのとれた食生活を促していくという取り組みを継続してまいります。学校給食においては、引き続き、地元食材を活用した安全・安心な給食の提供に努めてまいります。各学校での「一校一実践」の取り組みにつきましては、調査での課題として浮彫になっているのは、敏捷性あるいは持久力といったところでありますので、各学校の特性に応じた運動習慣の確立に向けて、引き続き、計画的な取り組みを進めてまいります。7 ページになります。「特別支援教育の充実」に関しましては、個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成と活用を基本としていきたいと考えております。各学校におります特別支援教育コーディネーターにつきましては、これまで通り研修を実施していきます。また、専門家チームによる巡回相談についても、引き続き取り組んでまいります。特別支援教育支援員の配置につきましては、学校の状況に応じた適正配置を行い、各支援員の資質向上のための研修も実施してまいります。次の「信頼される学校づくり」であります。28 年度から地域一斉参観日というのをはじめましたが、29 年度はこれを継続し、かつ、コミュニティ・スクールにつきまして、新たにに取り組んでいくこととしておりまして、29 年度中、準備が整った学校から導入を図ってきたいと考えております。8 ページになります。「教職員研修の充実」につきましては、引き続き、公開研究指定校事業を実施し、専門研修の実施、「ふるさと美唄研修」の実施を継続してまいります。教職員の不祥事防止に向けて、これまで通りコンプライアンス確立月間、5 月になりますが、周知や職場研修などを通じて、教職員としての自覚を徹底してということで考えています。次の「学校施設の整備」につきましては、小学校では中央小学校、峰延小学校で煙突内のアスベストがあるのが分かりましたので、この除去工事を実施します。中学校では東中学校での給排水衛生設備改修工事を実施します。学校給食センターにつきましては、給食が出来上がった後の冷却をするための真空冷却機について更新していくこととしております。9 ページの「3 社会教育」のところでございます。(1) の青少年の健全育成につきましては、全体の基本的認識を述べておりますが、市民総ぐるみで青少年の健全育成に取り組むと基本的考えのもと、本市では「美唄市教育の日」の趣旨を踏まえまして、各種事業を展開していくことを考えております。放課後児童



施設につきましては、先ほどご説明した中央小学校の定員見直しを行うこととしております。10 ページになります。(2) の生涯学習のところです。市民の皆さんに意欲を持って多様な学習に臨むことができるように、量よりも質に重点を置いた、きめ細やかな設定に配慮して、美唄サテライト・キャンパスでの講座の開講、協働事業の実施などに取り組んでまいります。「文化財の保護」につきましては、有形文化財である美唄屯田兵屋等については、木造ということもございまして、現行の保存状態が課題となっていることから、これまでも検討してきておりますが、木造建築物の保存と活用のあり方について、情報収集をするとともに検討を重ねていきます。無形文化財である、峰延獅子舞、峰延東傘踊りにつきましては、後継者育成を保存会の皆さんと一緒に努めてまいります。11 ページになります。「芸術文化の振興」のところでは、公民館・市民会館においては、利用促進を図っていくということ、アルテピアッツァ美唄につきましては、施設内の誘導案内看板を更新してまいります。併せて、平成 29 年度はアルテピアッツァ美唄ができて 25 周年の節目の年となりますことから、(仮称)ではありますけれども、「安田侃 ブロンズ展」というものをNPOと一緒に企画していくこととしております。「社会教育施設」では、郷土史料館については、郷土学習の場として、引き続き、利用促進に努めるとともに、特別展示室あるいは視聴覚室については、より広い活用をお願いしたいということで、作品発表の場などの利用促進も図ってみたいと思っています。図書館につきましては、基本的な蔵書の充実、地域資料の整備、各種資料等の提供など継続してまいります。子どもの読書活動につきましては、ブックスタート事業を続けることと、道立図書館との連携によりまして、幼児期から本に親しむ機会を提供していきたいと考えています。イベント的な行事がありますので、これに新たに組み込んでいきたいと思っています。配本事業というのは学校等を対象に行っておりますが、平成 29 年度は放課後児童施設を 2 施設から 5 施設に拡充し、配本事業の充実を図っていききたいと考えております。12 ページになります。(3) の生涯スポーツでございます。「チャレンジ・デー」3 回目となりますが参加をしてまいります。気軽に取り組めるスポーツ、これらの環境づくりを引き続き進めてまいります。市民体育祭、スポーツ教室、スポーツ大会の開催、学校体育施設の開放事業などを通じて、様々なスポーツ、生涯スポーツの機会というところを提供してまいりたいと思います。新たな取り組みとして、「合宿誘致」がございしますが、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックにおきます事前合宿の誘致を目指していくことにしております。各種競技団体の情報収集、本市の状況のPR活動を続け、かつ、オリンピック・パラリンピック以外で、実業団、大学、高校などの合宿誘致も努めて

いくということにしています。「体育施設の整備」につきましては、総合体育館や温水プールでは施設の一部更新をし、市営球場につきましては、3年間の工事期間を設定して、29年度の初年度については本部棟、バックネット、ダッグアウト等の改修を実施していくことにしております。13ページ、「4むすび」のところでございます。以上のような状況を踏まえまして、教育長としての決意を述べていることとなります。以上、雑駁ではございますけれども、このような内容で教育行政執行方針を取りまとめいたしました。よろしくご審議をお願いいたします。

●星野教育長 議案第5号 美咲市教育行政執行方針について概要の説明がありました。この件につきまして、何かご質問等がございましたらお伺いいたします。

●高橋委員 高校のことですが、尚栄高校の今年の募集に対して0.5倍ですね。入学募集について、今後、支援というか、間口の減とか、これからのことを考えると、今年の0.5倍はちょっときついのではないと思いますが。

●伊藤教育部長 尚栄高校の校長先生も募集状況について、ご報告に来られたのですが、120名定員に対して、現行募集の数字でいうと60名の募集数でありますので、その数でいいますと、現在、3間口ありますが、1間口減ってしまうことが予想されます。2次募集で81名までいくと、間口はこのままですが、これから21名増えるのは、なかなか難しいと思われまので、最終的に1間口減ることが想定されますので、非常に厳しい状況だと思います。教育委員会からは平成28年度、市内の道立高校2校に対して、支援制度を新たに作って、支援をはじめたところです。各種の資格試験ですとか模擬試験などの受験料の半額助成ですとか、聖華高校でいいますと、実習に行く際の交通費の一部助成等をはじめています。それだけでは、まだ十分といえないと思いますので、尚栄高校については、先に実施した面もありますが、支援内容を平成29年度については、若干の予算の増額をしているところです。

●星野教育長 尚栄高校の支援は継続するものの、81名は今の段階では難しいですので、次年度は1減になるのでは、そういう説明かと思います。よろしいですか。他にございませんか。

●各委員 ありません。

●星野教育長 ないようですので、議案第5号 平成29年度美咲市教育行政執行方針については原案とおり可決してよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●星野教育長 それでは、原案とおり可決いたします。

次に、議案第6号 平成29年度教育委員会予算（案）を議題といたします。説明

をお願いします。

●伊藤教育部長 議案第6号の資料、平成29年度 教育予算（案）のポイントとされた資料をご覧いただきたいと思います。今日の段階で、最終的な予算額全体の確定ができていないものですから、一応、未定稿と入れさせていただいています。全体の状況をご説明させていただきますと、予算総額、教育費全体では822,988千円となりました。前年度との比較では180,000千円強の増額28.7%の伸びとなっております。どのあたりが伸びたかというところで、2の主な施策と事業のところで見ていただきますと、まず、優先課題として、施設の安全確保というのがあがっています。施設が、それぞれ古くなっていることから改修が必要だと前回もご説明したのですが、決定した予算の内容で申しあげますと、学校施設関係では、小中学校の大規模改修事業として、中央小、峰延小のアスベスト除去工事、東中については給排水衛生設備改修工事で、合わせて124,000千円という予算になっております。小中学校維持修繕事業につきましては、9,253千円で、前年度からやや減額となっておりますが、内容としては茶志内小学校の洋式トイレの数がやや少ない学校であります。これを増設するということと、各学校から要望があります網戸の整備について行なう予定であります。学校給食センターにつきましては、12,669千円で真空冷却機を更新します。社会教育施設関連では、体育施設整備事業として、先ほど申しあげた、市営球場の改修工事を3か年事業の初年度として、74,723千円の予算付けをしております。総合体育館整備事業については、3,644千円で、内容としては、電光表示器、自動的に得点をカウントするシステムカウンターとなりますが、これを更新し、公民館・市民会館整備事業では1,188千円、内容としては、自動火災報知設備改修、アルテピアッツァ美唄では3,199千円で、誘導案内看板の更新を行う内容で、全体としてハード系、施設整備系の予算が多くなっております。その他の重要課題として3点あげていますが、1点目の学力向上につきましては、授業改善や家庭学習の充実という内容ですが、1つ目の学力向上プロジェクト推進事業については3,648千円で、前年度から増額となっております。増額の内容としては、現在行っております標準学力テストですが、小学校の2年生、5年生、中学校の2年生、合わせて3学年で行なっておりますが、これを倍の6学年で実施することとしております。2つ目の私立幼稚園施設型給付費負担金給付事業、その下の私立幼稚園一時預かり事業については、新しい制度移行に伴って新規の事業として起きたものです。私立幼稚園については、これまで就園補助事業という形でありましたが、市内の私立2園については、新制度への移行ということで意思表示されていますので、こちらの新しい事業の方が起きてきています。1つ飛びまして、

小中学校の教材購入事業については、6,728 千円となりまして、増額した部分については学校図書購入費の増額を見込んでいます。先ほどお話しがありました、市内高等学校支援事業につきましては、前年度 544 千円だったのが、800 千円と増額いたしまして、支援内容の拡充を図るということにしています。もう少し額としては増やしたかったのですが、残念ながら 800 千円に抑えられた結果になっております。重要課題の 2 つ目、スポーツの振興・体力の向上につきましては、おとなと子どもに分けていますが、子どもについては学校における一校一実践、学校以外では体力アップの取り組みを継続して行うこととしています。予算内容については、大きく変わっているところはありません。おとなの方でございますが、こちらは、大人の健康維持や健康長寿の取り組みを続けるということで、各種スポーツの事業を例年通りやっておりますが、大きく変わっているところありません。新たな取り組みとして、合宿誘致でございますが、これは、平成 28 年度から市長部局から教育委員会へと担当が移りました。事業費としては、東京オリパラ合宿誘致推進事業として 3,400 千円の計上となっております。重要課題の 3 つ目、生涯学習環境の向上につきましては、各種施設の活用・学習機会の充実を、引き続き行っていきます。この中では、4 つ目の郷土史料館管理運営事業は、2,406 千円と、やや増額になっておりますが、老朽化している施設の改修、例年通りの移動史料館の開催経費などが含まれています。1 つ飛びまして、図書館管理運営事業につきましては、図書館全体で 8,799 千円と、やや増額になっておりまして、こちらは、消防から指導を受けている防火設備改修を進めていくことで増額となっております。ポイントといたしましては、以上のような状況になっております。また、2 枚ほど戻っていただきまして、教育費の費目別の状況で見いただきますと、1 の教育総務費から 6 の保健体育費まで、前年度比較で表のような増減の状況となっております。全体では前年度比 180,000 千円強の増額という状況でございます。以下、予算要求したものの予算化できなかったもの、個別の予算事業の内容につきましては、それぞれ担当課長からご説明させていただきます。

●阿部学務課長 学校関連経費の中で、平成 29 年度予算化できなかったものについて、ご説明いたします。前回の教育委員会の中で予算要求した中身をご説明いたしましたので、その中で予算化できなかったものを、ご説明いたします。学校関連の中では、小中学校の新聞購読、これについては、学校図書館の整備事業 5 か年計画というものがあまして、地方交付税の増額の対象となっております。これについて、強く要求いたしましたが、新聞については認められなかったということで、来年度以降 720 千円を要求したいと思っております。小中学校の教材費についま

しては、150 千円ということですが、これについては、財政健全化計画が行なわれているときに、図書費が小中学校ともに大きく削られた経過があります。それを 3 年間計画で元に戻してほしい要求してきたところですが、なかなか予算が付かなかったということで、これについては、来年度以降も要求したいと考えております。先ほど、部長の方から図書費が増額となっている部分につきましては、ふるさと納税が青少年基金に随分入ってまいりました。その基金を利用させていただけるということで、今回、青少年基金を入れて、特別財源といいます、一般財源を使わずに、その財源を利用して増額をしていただいたということになっております。就学援助費については、新 3 項目と言われている P T A 会費、部活動費等がありますが、けれども、現在、道内 35 市中 18 市が実施しておりまして、51.4%の市が実施している状況にありますので、本市についても、是非、追加項目の実施をしたいということで予算要求をしていますが、予算見送りとなっています。次の東小学校の大規模改修につきまして、実施設計をしたいということで要求していました。耐震化は校舎本体、体育館は終わっておりますが、学校自体が非常に古いということで、大規模改修、外それから中の両方、改修したいということで要求を上げてございますが、これについては見送りとなりました。中央小学校、美唄中学校屋内運動場の屋根がかなり老朽化して、一部雨漏りとかなり錆びているという状況がありまして、金額が大きいのですが、要求をしておりますが、29 年度は見送りということになっておりまして、これについてはやらないということができませんので、次年度以降も要求していきます。スクールバスの更新については、昨年度 1 台、大型バス、中型バス更新することができました。中型バス 1 台ですと、1 学級しか乗れず、小学校 2 学級、中学校 2 学級と学年で動く時に、大型バス 2 台が必要というのが私どもの考え方で、まず、中型バス 4 台ありますけれども、1 台更新ということで、3 台更新を年次計画でしたいのですが、今年度については見送りとなっております、次年度以降、これについては必要ですので要求していくことで考えております。小学校の旧茶志内小学校のホクトヤンマーさんの土地に売却する土地の中に排水管ですとか、電気の設備が残っていたものを撤去しました。我々も気が付かなかったのですが、中に P C B、有害物質が入ったものなのですが、それが見つかってしまいました。それを処分したいということで、旧茶志内小学校に保管しておりますが、処分は待ってくれということで、建物を売れたときに一緒に処分しますことの回答でした。学校図書館のハブとした心のネットワーク事業ですけれども、学校司書を巡回させて蔵書管理ですとか、学習情報センター機能の強化ということを目指した要求をいたしました、これについては難しいということで認められませんでした。

30 年以降、また国の財源等を探りながら、要求していきたいと考えています。以上です。

●星野教育長 ここまで、教育部長の方から予算のポイントについて、まだ未定稿ですが、前年対比 183,000 千円増の約 822,000 千円ということでございました。続いて、学校関連で学務課長の方から、予算化できなかったものについての説明がありました。ここまでの、何か質問等あればお伺いします。

●星野教育長 PCB の関係ですが、置いておいても大丈夫なのですか。

●阿部学務課長 PCB は、本来、今見つかるということは、だめなことではあったのですが、高濃度の PCB っていうものがあるって、学校やいろいろな施設にあり、期限を定めて、国がいつまでに処分しなさいというのが決まっております。それについては処分できております。今回見つかったのは、低濃度のものでして、これについては処分の期限を国が定めておりませんので、持っていてだめということではありませんが、あってもいいものではないのです。今は、適正に鍵のかかる場所で保管してありますが、建物が売れるとしたら、あってはいけないものなので、至急、処分するということになります。今現在、苫小牧に処分する工場がありますが、その工場も何年かして、PCB の処分が終れば廃止となっていくしますので、そこが無くなる前に処分していくことになります。

●星野教育長 PCB が保管されていることは、地元には周知はしているのですか。

●阿部学務課長 特に周知はしていません。置いておいて、有害物質が出て、飛散して、何かに影響を与えているというのがないので、それ本体を保管している状況です。

●星野教育長 低濃度なので心配することはないということですか。

●阿部学務課長 漏れるものではないので、心配ないと思います。

●星野教育長 学校関連で予算化できなかったものについては、平成 30 年度の予算要求はするということでございます。これに関連して、何か質問等がありましたらお伺いします。

●森田委員 優先課題のところの学校施設というところで、維持修繕事業の中に、中央小学校の階段の踊り場の壁面が崩れているところがありますが、あそこは含まれているのですか。

●阿部学務課長 そこは予算措置ができました。崩れたというか、壁面が割れてきて、危ないですし、見栄えが非常に悪いということで、そこについては、来年度の予算はあります。

●星野教育長 ほか、ありませんか。ないようなので、学校給食センターについて

お願いします。

●**日下学校給食センター所長** 学校給食センターで、平成 29 年度予算化できなかったのについてご説明いたします。1 つ目、蒸気ボイラー更新 1 台となっております。蒸気ボイラーといいますのは、調理や食器などの洗浄、厨房内の暖房等、幅広い用途に使用しているのもですが、設置後 23 年経過し定年劣化が進んでおりまして、故障すると、場合によっては修理できないと思われまますので、更新の方を要望していたのですが、認められませんでした。これにつきましては、年に 3 回保守点検後、業者により行なっておりますので、それによりまして、故障やその兆候の早期発見に、引き続き努めながら、来年予算要求していきたいと考えています。2 つ目の調理用冷蔵庫購入 1 台から学校給食センター床改修までの 4 つですが、これにつきましては、文部科学省の定めで、衛生管理基準の規定に基づきまして、設備の更新又は改善などに行なっておりますが、来年度の予算の中では要求が認められなかったこととなります。これにつきましては、今のままでは調理をしてはいけないという部分まではいかないですが、衛生面できちんとしていくためには必要なので、予算を付けて改善していきたい部分であります。今後も衛生管理を徹底していくように努めていきたいと考えております。食育推進助成事業（新規）につきましては、学校給食法に定めがあります学校給食に活用に関する資料の充実に必要な食材として、美唄産の生鮮野菜特産品などをより多く活用できるように、保護者の皆さんからいただいている給食費とは別に、それらの一部を負担しようとするもので経費の要求をあげていますが、予算化できませんでした。それにつきましては、来年度以降も予算要求していきたいと考えております。以上、学校給食センターからのご説明を、終わらせていただきます。

●**星野教育長** 学校給食センターで予算化できなかったもの、これも学校関連のものと同じように、平成 30 年度予算要求をするという方法で考えておりますが、ただいまの件につきまして、質問等何かありましたらお伺いいたします。

●**星野教育長** 予算が付かなかったものは衛生的な面で工夫すれば大丈夫という考え方でいいのですか。

●**日下学校給食センター所長** 今ある設備の中で、工夫しながら、安全な使い方で衛生的にきちんと対応することは可能なことではありますが、これについては、今できることは、新しくしたらこうなさいとなりますので、近づけるように今後も整理していきたいと考えておりますが、現状では、今の設備を活用して衛生的に給食を作ることはできると考えております。

●**星野教育長** ただいま、学校給食センターの方からは、予算が付かなかったもの

に対しては、今の設備の中でうまく工夫していくということで、次年度以降は必要なものについては設備の改修について予算要求していくという説明でしたが、何か質問等ございませんか。

●各委員 ありません。

●星野教育長 学校給食センターは終わらせていただきます。続いて、生涯学習関連をお願いします。

●谷村生涯学習課長 私の方から、生涯学習関連ということで説明させていただきます。まず、最初にアルテピアッツァ美唄整備事業でございますが、アートスペースの屋根の張り替え及びギャラリー棟の屋根と壁の改修につきまして、予算要求していたところですが、見送られまして、平成 29 年度は、看板の修繕のみとなっております。アートスペースとギャラリー棟につきましては、耐震工事、耐震化等されていない木造建築物ということで、まず、この建物自体が、今後どのくらいもつのかという部分を含めて、屋根等の張り替えは必要ですが、そのあたりの全体の方針を決めたうえで、予算の方を付けていきたいと考えています。続きまして、公民館・市民会館整備事業ですが、こちらにつきましては、食堂部分の電気、水道の個メーターの設置が見送られました。その他、防火関連の修繕につきまして、未可能という形で修繕となりましたので、それぞれ減額をしております。個メーターにつきましては、平成 30 年度に対して予算を要求していきたいと思います。防火関連の消防設備につきましては、2 か年計画ということで、残りの分についても、同じく平成 30 年度に予算要求していきたいと考えています。続きまして、旧桜井家住宅自動火災報知設備設置工事につきましては、これにつきましては、29 年度予算におきましても見送りという形になりました。制度上のこういった設備の付いていないのは、好ましくないということで、要求しております。引き続き、30 年度でも予算要求していきたいと考えています。最後ですが、文化財等木造建築物点検手数料ですが、これにつきましては、先ほどのアルテピアッツァですとか、木造の建物につきまして、その老朽化度ですとか、そういったものを点検する費用に当てるものですが、今回見送られたということで、こちらにつきましては、その建物自体がどの程度、安全なものなのか、どの程度使えるものなのかの部分の点検をする必要があるかと思いますので、こちらにつきましても、平成 30 年度の中で改めて予算要求をしていきたいと思っています。生涯関連事業については以上でございます。よろしくお願いします。

●星野教育長 ただいま、生涯学習関連で 4 件の説明がありました。アルテピアッツァ美唄、特に大きいものにつきましては、アルテピアッツァ美唄の整備事業、こ



れにつきましては耐震化等、防火等の関係等、これからどうするのか、木造ということもありますので、整備の方針が決まった後、予算要求するという説明だったと思います。この４件につきまして何かご質問等ございましたらお伺いいたします。

●森田委員 桜井邸の自動火災報知機、何年間か見送りになっていると思うのですが、これが却下される理由っていうのを、改めて確認させていただきたいのですが。

●谷村生涯学習課長 消防からは条例の改正によって、公共施設であっても設備されていない部分については公表しなければならないことを、何年も前から言われていたのですが、最終的に、今回付かなかったことに対して、消防に確認しましたところ、公表義務はある施設としては、文化財は含まれていないということでした。ずっと言われていたことなのですが、公表の対象に、今現在はなっていないということで、今後、その条例改正された後、公表しなければならない施設の対象が拡大していく中で、文化財についても出てくるかと思うのですが、今の段階では、公表をされないことが分かったということで、財政では「まだ待ちましょう」同じ木造の建物という部分もありますが、そういった関係でこれまでも何年も要求しているのですが、今年度につきましても、予算化できなかったという状況でございます。

●星野教育長 森田委員の質問は公表がどうこうではなくて、安全面で大丈夫なのかという質問だったと思うのですが。公表しないから先送りとかではなくて、そのあたりの説明を加えてもらっていいですか。

●谷村生涯学習課長 公民館としても使っている建物で、文化財に指定されている建物ですので、そういった消防の設備につきましては、重要性というのはどちらも認識したうえで、必要性を訴えているところですが、財政上、認めてもらえていないということです。

●伊藤教育部長 木造建築物で、周りに住宅もありますので、いったん火事になったら、大変なご迷惑をかけるのは間違いないので、これは絶対必要な設備だと我々は思っておりますので、粘り強くといいますか、そんなに時間をかけていただませんが、引き続き、予算要求はしていかなければいけないかなと思っております。

●星野教育長 この説明でよろしいですか。

●森田委員 はい。

●星野教育長 他にございませんか。ないようですので、スポーツ振興・オリパラ関係をお願いします。

●川西スポーツ振興課長 私の方から、29年度予算で要求額が付かなかったものについてご説明いたします。まずは、体育施設費の体育施設管理運営事業の中のサン・スポーツランドの関係でございます。テニスコートの仮設トイレについて、洋

式の仮設トイレの予算要求しておりましたが、洋式でなくてもいいのではないかとことです。合宿の仮設トイレで洋式の一部トイレで 435 千円の予算になっております。洋式ですと、札幌の業者でないと、そういったトイレが無いのもですから、運搬費が結構かかるということもあり、和式だと市内のホームセンターさんとかで買い取りがありますので、そちらの方とも経費を比べたときに、洋式でなくてもということで 150 千円となっております。同じく、サンスポの管理棟に関することなのですが、管理棟の外壁が丸太を半分に切ったようなものを貼り付けた外壁になっておりまして、一部、外壁の部分が破損しております。下地までに風化は至っていないのですが、修繕ということで要望しましたが、もう少し待ってくださいということで、312 千円程度ですが、予算査定には至らないということでございます。続きまして、温水プールに関わる関係でございます。温水プールの修繕の関係で、温水プールの採暖室というのがあります、そのヒーターですとか、ストレッチプールに熱交換器というものがあるのですが、それらの熱交換器などの修繕について予算要求しましたが、これらについても、見送られたところであります。また、防火設備であります防火扉についても、男女の更衣室入口の部分、身障者の更衣室の入口部分、1 階の廊下の部分の 2 つ折りの防火扉になりますが、これらについて 4 つ要求しましたがけれども、いずれも、まだ優先する修繕の方もあり、そこらはプールの営業に影響が出る修繕ということで優先されましたので、防火扉の方が予算に至らなかったということでございます。更に、温水プールのプールフロア 6 レーンあるうちの 2 レーンですが、床に底上げのするフロアをひいてあります。それは、平成 21 年に更新して以来、更新されておられません。それらのフロアについての更新を要望したところでありますが、まだ壊れていないということで、予算要求は通らなかったところでございます。続きまして、体育センターに関わる経費でございます。これは体育センターの入り口に案内看板があるのですが、少し小さくて見づらいということで、利用者の方から見づらくて分かりづらいと聞いております。今、市外からも結構、利用者が来られるので、そのためには非常に分かりづらいので、もう少し分かりやすい看板ということで 200 千円を要求しましたが、既存のものがあるということで、査定から外されています。続きまして、総合体育館につきまして、修繕に関しましては、非常用自家発電設備蓄電池交換になりますが、これについては、まだ蓄電池の利用等容量が間に合うということで、予算査定から見送られているところでございます。それから、アリーナの南側の窓に付いてございます遮光暗幕でございますけれども、これについても、予算要求から外されております。更に、備品購入費でございますが、トレーニングルームにある機器類

の更新を予算要求しましたが、いずれも見送られております。これにつきましては、本来、ＴＯＴＯのくじの助成金を使おうと思ったのですが、トレーニング機 1 機 1,000 千円以上のものでないと、それらの助成が付かないということで、トレーニング機器の整備につきまして、改めて、別な助成金の調査等を行いながら、引き続き、要求をしていきたいと思っております。それと、バレーボールの支柱ですとか自走式の草刈り機になりますが、これらの備品要求につきましても、要求から見送られております。それから、総合体育館につきまして、トイレの洋式化、シャワー室の入口の拡大、それと、シャワールームの拡大と改修でございましたが、実施設計委託料を見込んでいたところですが、1,844 千円の要求に至らなかったということでございます。総合体育館照明が、2020 年には水銀灯が使用できなくなると法律が変わりまして、そのために、今から準備で、照明をＬＥＤ化にしていこうと、来年の 1 月くらいから 3 か月間のリース料を見込んでいたところですが、それも送りになっているところでございます。以上につきましては、引き続き、平成 30 年度に向けて予算要求をしていこうと考えているところでございます。最後に、オリパラ室の関係でございます。合宿誘致活動費につきまして合宿誘致活動の職員旅費などにつきまして、一部減額になっているほか、先にご説明申し上げましたアドバイザー料の一部分についても減額となっております、減額金額 1,347 千円ということになりました。これは、予算の範囲以内で誘致活動をするしかないということで、旅費につきましては付かなかった部分につきましては、効率よく、1 度、出張に行く時に、他市も回るといような形で対応していきたいと思っておりますし、アドバイザー料については、アドバイザーの先生とも話をしながら、その金額内で収まるような方向で活動を進めていきたいと思っております。以上でございます。

●**星野教育長** スポーツ振興・オリパラ関連につきましては、10 件ありますが、緊急性の観点と、併せて使えるものは使ってというようなことで、先送りになっているかと、そういう説明かと思えます。この 10 件について何か質問等ございましたら伺いいたします。

●**森田委員** 総合体育館のトイレですが、これはきっと、一般市民の方からも洋式化にして欲しいという意見はたくさんあったかと思いますが、例えば、今、たくさんあるトイレの中で、一番奥しか洋式が無くて、毎年、1 箇所ずつでもいいから増やすとかそういうことはないのですか。これだと 0 か 100 かですよね。そこを、何とか、2 箇所を洋式にしようとか、そういう細かな予算要求はできないのでしょうか。

●**川西スポーツ振興課長** 今回、具体的な改修工事をするための実施設計委託料で

計上しました。それは、総合体育館の暖房は全部床暖房になっていまして、ロビーからトイレ、シャワー室、格技場すべてところ床暖房になっている関係がありまして、その経路が、どういうふうな経路で各館循環しているのかというのを調べないといけなく、1つ1つのブースに手を付けるとかトイレ全体を改修するにあたっての床暖房の関係をしっかり見極めないと、他で暖房が行かなくなってしまう箇所が出てきたりとかしまして、それらのために実施設計が必要になります。森田委員がおっしゃられるように、1つ1つのブースを少しずつでもということになるのでしょうか、それも実施設計をして、きちっとしたルートを確保しないことには、改修に手を付けられないということで、なかなか、1ブースだけとかシャワー室だけとかという改修には至らないということでございます。

●高橋委員 設計図はないのですか。

●川西スポーツ振興課長 設計図はあるのですが、その業者さんに聞かないと、実際の施工と設計図との違いがあったりするので、そのあたりのところを確認したいということです。それが1,800千円くらいの見積になっています。

●星野教育長 実施設計が付かなければ、ずっと改修はできないという考え方ですか。

●川西スポーツ振興課長 はい。暖房の関係がどうなっているか分かりませんので。

●森田委員 今、合宿誘致で色んな力を入れているうえで、総合体育館のトイレとかシャワー室とかを整備しておくことが最低限の誘致をするうえでの条件になってくるのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

●川西スポーツ振興課長 合宿誘致をするにあたって、たぶん、国内の選手のほとんどが国内のナショナルセンターの東京の方ですべてトレーニングを行い、地方に出てくることは、ほとんどないと思います。となると、海外を目指してということになります。そういった取り組みはしていますが、やはり海外の選手ですと、生活習慣という部分では、常識というのは確実に必要だと、トイレに関しても習慣だと思えますし、シャワー室についても同様でございます。それは重要な改修の部分だとは考えているところでございます。ただ、如何せん、予算が付かない状態でありまして、担当としても歯痒いところであります。回答としては、以上でございます。

●伊藤教育部長 技術的な面をどうするかというところがネックになっているので、あまり予算をかけずにしっかりやるようなやり方ができないか研究していきたいと思っています。

●星野教育長 実施設計がなかなか付かないのであれば、建築住宅課の方に確認し

てみるとか、そのあたりもあると思うので、来年度の予算要求に向けて、可能な部分あるのかないのか検討していただきたいと思います。スポーツ振興・オリパラ関連は他に何かございませんか。全体を通して何かございませんか。ないようですので、平成 29 年度の教育委員会予算（案）については資料のとおり決定してよろしいでしょうか。

●各委員 はい

●星野教育委員長 それでは、このように決定いたします。

次に、その他 1 美唄市立学校職員服務規程の一部改正についてご説明をお願いします。

●阿部学務課長 その他 1 美唄市立学校職員服務規程の一部改正についてでございます。これにつきましては、先ほど、議案第 4 号で介護休暇、介護時間についての制度の拡充についてお話し申し上げましたが、これらについては、本人から介護休暇の申請書を、新たに提出するほか拡充部分については一部改定しているところでございまして、それらの新設部分を加えたものです。以上です。

●星野教育長 ただいまの件について、何かご質問等ございましたらお伺いいたします。

●各委員 ありません。

●星野教育長 ないようですので、美唄市立学校職員服務規程の一部改正については終了いたします。

本日の議事については終了いたしました。他に何かございませんか。

●高橋委員 1 点お聞きしたいのですが、岩見沢市で、学校の灯油漏れの事故がありまして、大変お金がかかっているということ、管理が悪かったということで新聞報道がありました。美唄市の小中学校については、その点どのような形で管理を行なっているのでしょうか。

●阿部学務課長 灯油漏れにつきましては、各学校、灯油タンクがございまして、過去に、美唄市においても小学校等で灯油漏れが起こった事例がございます。その管理につきましては、公務補さんが管理し、点検を行っています。重油タンクにつきましては、毎年、必要な点検を行っておりますが、灯油タンクにつきましては、公務補の目視点検と灯油業者の再度の点検となりますが、言われた岩見沢の事故も我々、非常に気になる事故でして、他のまちでそういうことが起きると、一応、公務補には点検していただけるように指導しているところです。

●高橋委員 特に、定期的に委員会ですとか管理職の校長先生や教頭先生が立ち会ってとかではないのですか。

●阿部学務課長 特に、そこまではしていませんが、公務補には、タンクの雪下ろしですとか色んなことをしますので、随時、点検してくださいと指導しているところです。

●星野教育長 灯油漏れについては、岩見沢の関係がありましたので、この前の校長会議の中で、私の方から、各学校については点検するようにと話をしておきましたので、そのように進めていると思います。

他に何かございませんか。

私の方からよろしいですか。教育委員会主催行事で、イベント関係もそうですが、それは必ず教育委員さんの方に、今後、周知するようにお願いします。主催行事部分どういう行事なのか、どんな形でも結構ですので、教育委員さんが知らないよということにならないような形で、教育の主催行事については周知するようお願いします。

他にございませんか。

●各委員 ありません。

●星野教育長 ないようですので、これをもちまして、平成 29 年第 3 回美唄市教育委員会議を閉会いたします。お疲れさまでした。

17:20 終了

以上会議の顛末を記載し、その相違無いことを証するためここに署名する。

署名委員

齋藤 実

【別紙 1】

教 育 長 報 告

自 平成 29 年 1 月 20 日

至 平成 29 年 2 月 15 日

区 分	会 議 等	
1月20日	第 2 回教育委員会議	教育委員室
21日	第 8 回美唄市子ども書き初め大会表彰式	市民会館
24日	第 3 回美唄市青少年指導員・専任指導員会議	市長会議室
24日	美唄市民会館指定管理業務連絡会議	教育長室
29日	サテライト・キャンパス成果発表会・交流会	市民会館
2月 5日	2017 美唄アルペンスキー大会	美唄国設スキー場
6日	美唄市青少年センター運営委員会議	第 4 会議室
8日	学力向上サポートセミナー	教育委員室ほか
10日	美唄新興企業クラブ創立 50 周年記念式典・祝賀会	ホテルスエヒロ
13日	「ランドセルカバー」贈呈式（北海道新聞社）	教育長室
14日	一般教職員人事異動 2 次協議	空知教育局(岩見沢市)
15日	第 2 回北海道幼児教育研究協議会	TKP 札幌ホワイトビル(札幌市)

上記のとおり報告する。

平成 29 年 2 月 16 日

美唄市教育委員会

教育長 星 野 恒 徳

【別紙2】

## 1 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
20	金				
21	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
22	日	スポーツ健康都市宣言記念事業第30回スキーハイキング	9:45	陸上競技場	市民
23	月				
24	火	第3回青少年指導員専任指導員会議	15:00	市長会議室	関係者
25	水	第10回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	第4会議室	関係者
26	木	3歳児ブックスタート(3歳児健診)	13:00	保健センター	市民
27	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
28	土				
29	日				
30	月				
31	火				

## 2 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
1	水				
2	木	読み聞かせ	11:30	子育て支援センター	市民
		郷土史料館移動展「写真でふり返る昭和の風景」(～16日)		ピパの湯ゆ～りん館	市民
3	金				
4	土	市内小中学校絵画・書道展①(～12日)	9:00	安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄	市民
5	日	スポーツ都市宣言記念行事2017美唄アルペンスキー大会	7:30	美唄国設スキー場	市民
6	月	青少年センター運営委員会	13:30	第4会議室	関係者
7	火				
8	水				
9	木				
10	金				
11	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
12	日				
13	月				
14	火				
15	水	市内小中学校絵画・書道展②(～23日)	9:00	安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄	市民
		第11回定例校長・園長会議	9:30	第4会議室	関係者



# 3 月 行 事 予 定

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	所 管
1	水				
2	木	第12回定例校長・園長会議	9:30	第4会議室	指導室
		読み聞かせ	11:30	子育て支援センター	図書館
		7か月児ブックスタート(7か月児健診)	13:00	保健センター	図書館
3	金	第12回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	第4会議室	指導室
4	土				
5	日	スポーツ健康都市宣言記念事業 第30回スキーアドベンチャー	9:00	ゴルフ5カントリー美唄コース	スポーツ振興課
		美唄サテライト・キャンパスwith札幌国際大学合同演奏会	13:00	市民会館	サテライト・キャンパス推進室
6	月				
7	火				
8	水				
9	木				
10	金				
11	土	卒業式(中学校)		各中学校	
		おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
12	日	第23回ポロピンネ3on3バスケットボールフェスタ	9:00	総合体育館	スポーツ振興課
13	月				
14	火				
15	水				
16	木	卒園式(栄幼稚園)		栄幼稚園	
		読み聞かせ	11:30	子育て支援センター	図書館
		3歳児ブックスタート(3歳児健診)	13:00	保健センター	図書館
17	金	卒業式(小学校)		各小学校	
18	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
19	日				
20	月				
21	火				
22	水				
23	木	7か月児ブックスタート(7か月児健診)	13:00	保健センター	図書館
24	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
25	土	市内小中学校絵画・書道展③(～4/5)	9:00	安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄	生涯学習課
26	日				
27	月				
28	火				
29	水				
30	木				
31	金				

## 【生涯学習課】

街頭指導 16日(木)

生徒指導交流会 21日(火)

## 【サテライト・キャンパス推進室】

協同事業～合宿事業(合宿所(旧ダム事務所)と総合体育館:3月22日(水)～24日(金))